

令和4年度学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|------|---------------------|-------|----------|------|-----------|------|----------|--------|----------|-----------|-----------|-----------|---|----|
| 学校番号 | 中学1 | 学校名 | 県立日立第一高等学校 附属中学校 | | | | 課程 | ※ | | | | 学校長名 | 青木 睦人 | | | |
| 副校長名 | ※ | | 教頭名 | 萩原 知樹 | | | | 事務長名 | 金子 泰章 | | | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 15 | 養護 教諭 | 1 | 常勤 講師 | 0 | 非常勤 講師 | 1 | 養護 教諭 | 0 | 事務 職員 | 4 (兼務) | 技術職 員等 | 5 (兼務) | 計 | 29 |
| 生徒数 | 小学科 | 第1学年 | | 第2学年 | | 第3学年 | | 合計 | | 合計クラス数 | | | | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | | |
| | ※ | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | 39 | 120 | 119 | 6 | | | | | | |

2 目指す学校像

| |
|---|
| <p>本校は、高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する学校である。</p> <p>そのために、様々な学習機会を提供し、各教職員がその専門性を活かし、組織的できめ細かな指導を行うとともに6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、次のような生徒を育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自ら課題を発見し、主体的に「やり抜く」ことのできる生徒 物事を理性的に判断し、筋道を立てて議論できる生徒 高いモラルと豊かな感性を持ち、リーダーシップを発揮できる生徒 運動の楽しさや喜びを知り、自ら健康を管理できる生徒 |
|---|

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|--------------|--|--|
| 学習指導 進路指導 | 第3回の学力推移調査（3年はZ会アドバンス）において、県内参加中学校の平均点（3教科合計）との比較で、3年生+4.4、2年生+21.1、1年生+51.9と各学年ともに上回り、基礎基本は定着している。各学年とも学力差がみられる傾向がある。 | 「主体的、対話的で深い学び」に向けたICTを活用した授業改善 発展的な学習や補充的な学習に対応する課外学習の工夫 |
| 生徒指導 | 基本的な生活習慣は定着傾向にあり、落ち着いた生活をしている。生徒の自主性を尊重した指導を実施することで、生徒の自主的・自律的な態度が定着しつつある。 | 特別な支援が必要な生徒に対する理解の推進と、指導体制の整備 問題行動の未然防止及び早期発見、早期対応 |
| 特別活動 | 学校行事や宿泊学習などにおいて、生徒の主体的な活動が見られる。海外語学研修がコロナの影響で2年続けて実施できていない。 | 生徒の自主的・自律的な態度を育む行事、委員会活動の工夫 委員会活動は活動日が流動的で、削られることが多い。 キャリア・パスポートの効果的な活用の検証 |

| | | |
|-------|---|---|
| 国際教育 | イングリッシュタイムやグローバルコミュニケーション、海外語学研修に向けての学習の実施により、英語に対する興味・関心が一層増している。英語の運用能力が伸びており、英検準2級以上の合格率も向上している。 | ブリティッシュ・ヒルズ語学研修・海外語学研修の充実 高校進学後の海外研修や留学等への啓発 |
| 科学教育 | サイエンスリテラシーにより、研究のテーマ設定やデータの収集・分析等を学習し、基本的な研究の仕方を身に付けている。 | 中高一貫校を意識した指導内容等の工夫・改善 科学的ディスカッションができるリーダーの育成につながる支援の工夫 |
| 働き方改革 | 生徒への丁寧な指導や様々な取組がなされており、一人一人の業務量が多くなっている。 | 業務内容の精選と業務時間外労働時間の縮減 学校組織のスリム化 |

4 中期的目標

| |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 教科指導の充実に努め、主体的・対話的で深い学びを推進する。 2 中高一貫校の特色を生かした取り組みにより、将来のリーダー的人材を育成する。 3 生徒指導上の問題に対して、未然防止・早期発見を図り、安全・安心な学校生活を保障する。 4 生徒会活動・学校行事等を通して、生徒の自主性を育む。 5 学習活動と特別活動の両立を推進し、生徒のやり抜く力を育成する。 6 国際交流、大学・職場見学、ボランティア活動等の体験学習をより推進し、キャリア・パスポートを活用しながら、生徒の高い志を育む。 7 サイエンスリテラシーを通して、科学的思考力をもち、ディスカッションができる生徒を育成する。 8 学校及び教職員の業務の整理・見直しを進め、教職員の負担の軽減を進める。 |
|---|

5 本年度の重点目標

| | 重点項目 | 重点目標 |
|---|-----------|---|
| 1 | 高い志の育成 | 6年間を見通した中高一貫校としての進路指導の充実（教務部、進路指導部） キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実（進路指導部、特別活動部、各学年） 医学部進学等を意識した中高連携（進路指導部） |
| 2 | 学力の向上 | 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価の見直し（教務部、各教科） 学力向上を図るICTを活用した授業づくり（教務部、各教科） 先取学習や学習の深化など附属中学校の教育内容について教科会の定期的な開催（各教科） サイエンスリテラシーの充実（SSH・教務部） 特別な支援を必要とする生徒や成績不振な生徒に関する組織的な支援（各学年） |
| 3 | 豊かな人間性の育成 | 自主的・自律的態度を育てる特別活動や学校行事の充実（特活指導部、各学年） 教育相談や面談を通じた生徒理解及び生徒・保護者支援（教育相談部、各学年） 道徳の学習を通じて心の教育の推進（道徳主任、各学年） |
| 4 | その他 | 中高一貫教育の成果検証 業務の精選や改善を通しての教職員の労働時間の状況の改善（各校務分掌） |